

社寺名 三津巖島神社 (松山市神田町1-7)

奉納者 しおた たみのじょう
塩田民之丞

奉納年 文化7年(1810年)頃

解説

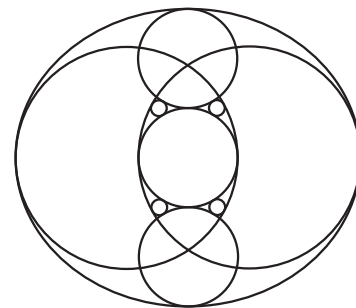
塩田民之丞の算額は現在失われていますが、大正元年(1912)発行の『愛媛教育』に、三津巖島神社に奉納された算額の写しが掲載されていることが分かりました。奉納年代は記されていませんが、全国的に著名な松山藩の和算家、大西佐兵衛の門人であることから、文化7年(1810)前後と推定されます。

愛媛和算研究会が、「平成17年度日本数学史学会桑原賞」の受賞を記念して奉納しました。

平成17年度伊予銀行地域文化活動助成制度をもとに、株式会社セットアップ製作。

問題文

いま図のように、楕円内の短軸上に、中円3個を描き、その中円1個と楕円周上の1点(長軸上の先端)で接する大円2個を描く。その交わったところのすき間に小円4個を入れる。短軸の長さ2621寸、大円の直径を最大にするとき、小円の直径はいくらか。



術日置七十三個開平方加一十九個一
十六除之名極開平方加極六之以除短
徑得小圓徑合問

今有如圖側圓內隨短徑畫
中圓三箇切其中圓一個及
側圓周一處畫大圓二個而
交罅容小圓四個短徑二千
六百二十一寸欲大圓徑最
多問小圓徑幾何

答日小圓徑 一百四十四寸 有奇

大西佐兵衛門人

關流 鹽田民之丞 印

平成十七年十二月吉日
復元奉納 愛媛和算研究会